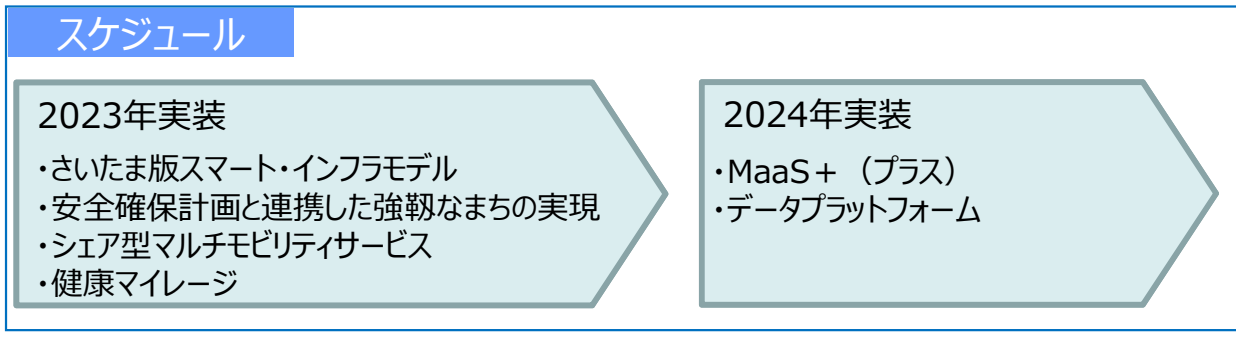
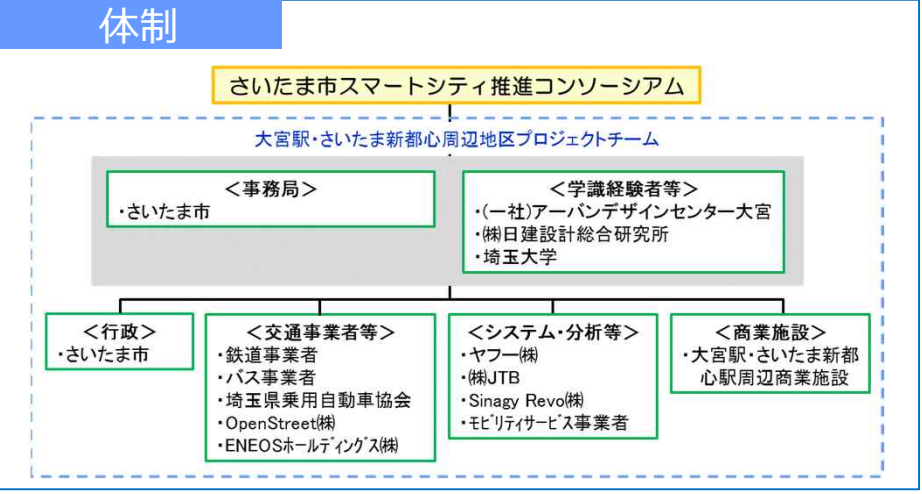


令和2年度 先行モデルプロジェクト(7事業)				
事業名	団体名	対象区域	主な構成員	取組概要
さいたま市スマートシティ推進事業(大宮駅・さいたま新都心周辺地区)	さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム	埼玉県さいたま市 大宮駅・さいたま新都心周辺地区	さいたま市 (一社)アーバンデザインセンター大宮、日建設計総合研究所、埼玉大学、鉄道事業者、バス事業者、埼玉県乗用自動車協会、OpenStreet、ENEOSホールディングス、ヤフー、JTB、Sinagy Revo	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大宮駅・さいたま新都心周辺地区を対象に、ICT×次世代モビリティ×複合サービスの提供や、サービスで取得するビッグデータの活用により、交通結節点とまちが一体となった「スマート・ターミナル・シティ」を目指す。 ○ R2年度は、①シェア型マルチモビリティサービスとダイナミック・モビリティハブ実証、②各種モビリティからのビッグデータを活用したスマート・プランニング実証に取り組む。
羽田空港跡地第1ゾーン整備事業(第一期事業)	羽田第1ゾーンスマートシティ推進協議会	東京都大田区 羽田空港跡地第1ゾーン(羽田イノベーションシティ)	大田区 鹿島建設、羽田みらい開発、日本総合研究所、アバンソシエイツ、鹿島建物総合管理、BOLDLY、TIS ほか多数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 空港跡地のグリーンフィールドである街全体を対象として、BIMを活用したデータの統合・可視化・分析が可能な「空間情報データ連携基盤」を整備し、先端技術の協調領域とすることで、実証の取組に適したテストベッドを形成し、大田区の課題解決に資する取組を展開し、早期のサービス実装を目指す。 ○ R2年度は、①最先端モビリティの導入、統合管制実証、②最先端ロボットの導入、統合管制、ロボットと建物機能との連携によるサービス高度化実証、③AI観光案内ロボットと空間情報連携基盤の連携、アバターロボットによる観光客誘客、データ活用エリアマネジメント実証に取り組む。
スマート・プランニングをエンジンとしたクリエイティブシティの実現	新潟市スマートシティ協議会	新潟県新潟市 中心市街地(新潟駅周辺地区、万代地区、古町地区)	新潟市 新潟大学、事業創造大学院大学、新潟古町まちづくり(株)、(株)NTTドコモ新潟支店、(株)福山コンサルタンツ東京支社 ほか24団体	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中心市街地のストック活性化のため、アプリで商業、観光、イベント等に関する情報発信を行い、収集したデータを活用した効果分析・シミュレーションを通じ、コンテンツの充実、情報の発信方法の改善を図る「スマートプランニングの高度化」を実施する。 ○ R2年度は、①データ駆動型コンテンツ統合アプリの開発、②スマート・プランニングによる施策アドバイザーツール、③インセンティブ提供媒体を活用したビジネスモデル検証、④レンタサイクル高度化による回遊性向上の実証に取り組む。
スマートシティ実現で増幅するエリアの引力	岡崎スマートコミュニティ推進協議会	愛知県岡崎市 乙川リバーフロントQURUWA地区	岡崎市 (株)日本総合研究所、(株)デンソー、西日本電信電話(株)、日本電気(株)、東京大学先端科学技術センター	<ul style="list-style-type: none"> ○ センシングデータを利活用した「楽しい・快適・安全なウォークアブルシティ」の構築するとともに、スマート技術やデータ利活用の便利さを感じられる「人間中心のまち」を実現。スマートシティ実現で魅力を可視化し、持続可能なまちの引力(誘客・民間投資・出店・居住意向)を増幅する。 ○ R2年度は、カメラの人流分析に防犯用途を兼ねたマルチユース化、GPS人流分析、3D-LiDARリアルタイム分析、デジタルサイネージによるまちのデータの共有、統合人流分析シミュレーションの実証に取り組む。
うめきた2期地区等スマートシティモデル事業	うめきた2期地区等スマートシティ形成協議会	大阪府大阪市 うめきた2期地区、夢洲地区	大阪府、大阪市 三菱地所、都市再生機構、JR西日本、Osaka Metro、大阪ガス都市開発、オリックス不動産、関電不動産開発、積水ハウス、竹中工務店、阪急電鉄、三菱地所レジデンス、うめきた開発特定目的会社	<ul style="list-style-type: none"> ○ ターミナル立地の広大な都市公園を有するうめきた2期地区や、国際集客拠点をめざす夢洲地区において、最先端技術の導入・実証実験の実施を行いやすいグリーンフィールドとしての特性を活かし、豊富なデータの利活用を実現するプラットフォームを整備し、「事業創出」・「市民のQOL向上」・「マネジメントの高度化」に資する施策に官民の枠を超えて取り組む。 ○ R2年度は、パーソナルモビリティ実証、来街者数・属性分析実証、遠隔緑地管理システム実証、遠隔操作ロボット実証に取り組む。
加古川スマートシティ事業	かこがわICTまちづくり協議会	兵庫県加古川市 全域	加古川市 (株)日建設計総合研究所、(株)日建設計シビル、日本電気(株)、総合警備保障(株)、(株)フューチャーリンクネットワーク、関西電力(株)	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICTなどの先端技術を積極的に活用し、「安全・安心」をはじめとする様々な地域課題に多様な主体が協働して取り組む、魅力的なコミュニティを形成し、共に支え、いつまでも安心して快適に暮らせるまちを目指す。 ○ R2年度は、①河川防災性向上に向けた、市町村災害対応統合システムとの連携や内水氾濫等対応のためのセンシング、行政情報ダッシュボードでの可視化・情報一元化、②次世代見守りサービスの広域展開、高齢者見守りサービスの実証に取り組む。
荒尾ウェルビーイングスマートシティ	あらおスマートシティ推進協議会	熊本県荒尾市 (南新地地区)	荒尾市 JTB総合研究所、三井物産、有明エナジー、グローバルエンジニアリング UR都市機構 <アドバイザー会員> 東京大学、COI東北拠点(東北大学) <サポート会員> ITID	<ul style="list-style-type: none"> ○ センシング技術を活用し、さりげなく日常生活の中で健康状態がわかる「日常人間ドック」、パーソナルデータエコシステムの活用など、多様な先端技術の連携により、住民が最先端のウェルビーイング(心身ともに健康で幸せな状態)を享受できる快適未来都市を創造。また南新地地区をリビングラボと位置付け、ニューノーマル時代の新サービス創出拠点を狙う。 ○ R2年度は、①さりげないセンシングと日常人間ドック、②パーソナルデータエコシステムの実証に取り組む。

さいたま市スマートシティ推進事業（さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム）（さいたま市）

大宮駅・さいたま新都心周辺地区を対象に、ICT×次世代モビリティ×複合サービスの提供や、サービスで取得するビッグデータの活用により、交通結節点とまちが一体となった「スマート・ターミナル・シティ」を目指す。

- ### 目標
- 交通結節点の利便性向上 → 交通の利便性が高いまちと感じる人の割合
 - エリアの回遊性向上、市民の健康促進 → シェアモビリティ利用回数
 - 大宮～新都心の地区間の連携強化 → 移動サービスの選択肢



羽田空港跡地第1ゾーン整備事業（第一期事業）（羽田第1ゾーンスマートシティ推進協議会）（大田区）

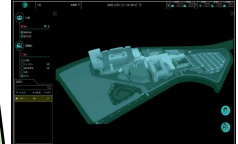
空港跡地のグリーンフィールドである街全体を対象として、BIMを活用したデータの統合・可視化・分析が可能な「空間情報データ連携基盤」を整備し、先端的技術の協調領域とすることで、実証的取組に適したテストベッドを形成し、大田区の課題解決に資する取組みを展開し、早期のサービス実装を目指す。

- ### 目標
- 区民交通満足度
 - ロボットの利用による維持管理業務コストの削減率
 - 大田区の観光入込客数、日帰り観光客数
 - 区民の高齢者に占める要介護認定者割合

取組概要

	スマートモビリティ	<ul style="list-style-type: none"> 交通弱者の移動手段提供、自動運転システムによる運営費の削減
	スマートロボティクス	<ul style="list-style-type: none"> ロボット統合管制によるロボティクス導入環境の整備 スマートBMとの連携
	スマートツーリズム	<ul style="list-style-type: none"> 来街者データ分析を活用した効果的な賑わい創出施策
	スマートヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> 健康アプリ×データ活用による未病対策の誘導、健康寿命の延伸

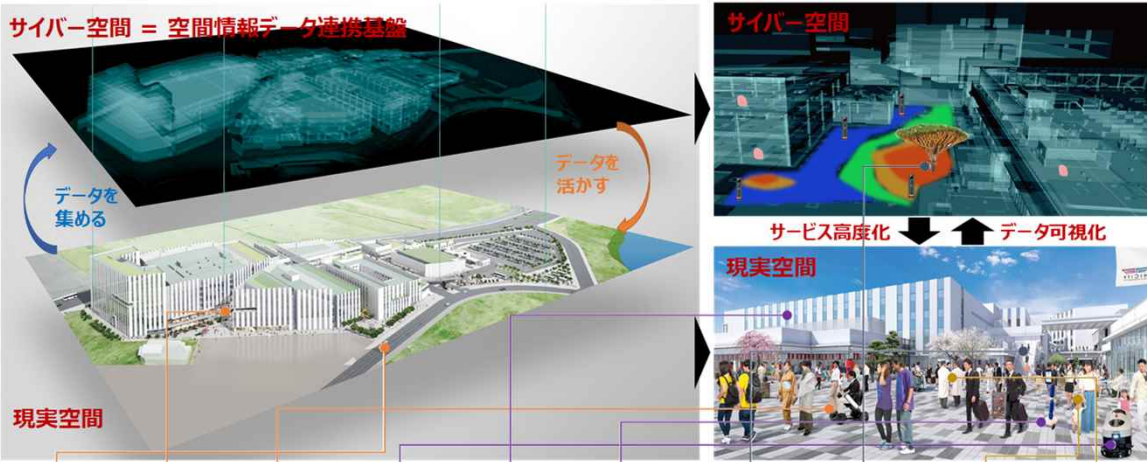
空間情報データ連携基盤



- 📡 データ収集・統合
- 📦 データ蓄積
- 🔍 データ可視化
- 📊 データ分析
- 📄 データ公開

将来像

空間情報データ連携基盤と他都市OSとの連携機能拡充により、データ利活用方策の創出やそのデータ利活用に基づく新ビジネス創出を推進。



サイバー空間 = 空間情報データ連携基盤

現実空間

データを集める → データを活かす

サービス高度化 ↔ データ可視化

自動運転バス	グリーンカーモビリティ	自動運転車椅子	自動清掃	自動配送	アバターロボット	AI観光案内ロボット	ARコンテンツ	健康ポイントサービス	健康改善サービス
スマートモビリティ			スマートロボティクス			スマートツーリズム		スマートヘルスケア	

体制

羽田第1ゾーンスマートシティ推進協議会

都市管理者	大田区	課題抽出、区内連携支援、横展開推進
開発運営者	羽田みらい開発	全体統括、各サービス取りまとめ
協議会運営者	鹿島建設	全体統括
データ連携基盤構築	鹿島建設	空間情報連携基盤の構築 [収集] [管理]
サービス提供・技術開発	BOLDLY、TIS、鹿島建物総合管理	[収集]
スマートモビリティ分科会	BOLDLY、WHILL、日本交通、マニカ	[収集]
スマートロボティクス分科会	TIS、avatarin、WHILL、SBSシステム、日本空港ビルデング、空港施設、鹿島建物総合管理、イースト不動産、鹿島東京開発、ロボットソリューション	[収集]
スマートヘルスケア分科会	大田区、学校法人東邦大学	[収集]
スマートツーリズム分科会	avatarin、0111、アバター、ドット、バイオエクス、アバターソリューション	[収集]

新規技術開発・サービス提供者 区内企業、ベンチャー企業等

エリアマネジメント委員会 先端産業創造委員会

相互連携

参加・協力

連携

スケジュール

2020年実装 <ul style="list-style-type: none"> 空間情報データ連携基盤 自動運転バス運行 	2021年実装 <ul style="list-style-type: none"> パーソナルモビリティの自動走行 ロボット管制システムの一部導入 物流、清掃、観光案内等のロボットの導入 	2023年以降実装 <ul style="list-style-type: none"> 区健康ポイントとの連携 ロボット管制システム運用
--	--	--

スマート・プランニングをエンジンとしたクリエイティブシティの実現（新潟市スマートシティ協議会）（新潟市）

中心市街地のストック活性化のため、アプリで商業、観光、イベント等に関する情報発信を行い、収集したデータを活用した効果分析・シミュレーションを通じ、コンテンツの充実、情報の発信方法の改善を図る「スマートプランニングの高度化」を実施する。

- ### 目標
- 回遊性の向上及び来街者の満足度やQOL向上
→ 主要箇所における歩行者数・来街者数 など
 - まちなかならでの自発的・独創的コンテンツの充実
→ 区域内の空家・空き店舗の活用件数 など



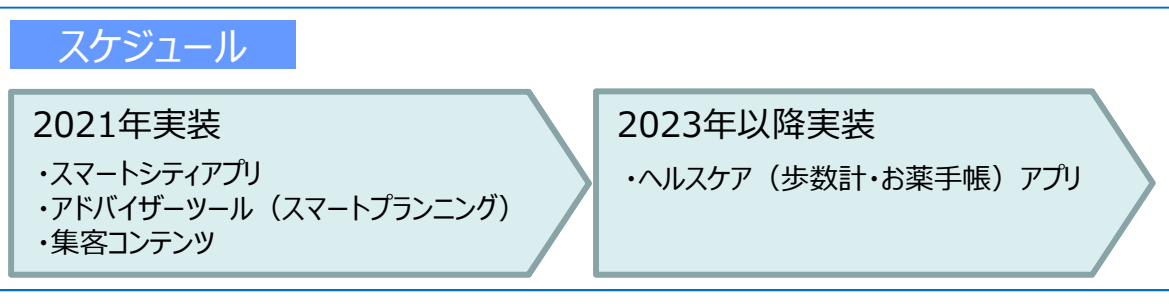
体制

新潟市スマートシティ協議会

技術提供	民間企業・団体 (26団体)	地域との連携により、取組みの実行性や持続性を強化
地方自治体	新潟市	
地域におけるスマートシティの担い手	古町：新潟古町まちづくり(株) ※都市再生推進法人 新潟駅・万代：担う団体を検討中	
有識者	新潟大学、事業創造大学院大学	

連携

モビリティ 新潟都心の魅力向上に資するMaaSデータ連携プロジェクト



スマートシティ実現で増幅するエリアの引力（岡崎スマートコミュニティ推進協議会）（岡崎市）


センシングデータを活用した「楽しい・快適・安全なウォカブルシティ」の構築するとともに、スマート技術やデータ利活用の便利さを感じられる「人間中心のまち」を実現。スマートシティ実現で魅力を可視化し、持続可能なまちの引力（誘客・民間投資・出店・居住意向）を増幅する。

目標

- 住民や来街者の「安全・快適・楽しい」を構築
→ エリア内事故・犯罪発生件数の減
- エリアの引力「誘客・民間投資・出店・居住」を惹きつける
→ 来街者の増加、来街者の消費額の増加


取組概要

水位予測




スマートメーター通信網で取得する雨量と水位のデータから予測アルゴリズムを構築。予報情報で水位を予測。データ提供は予測データとリアルタイムデータの両方を行う。

ウォカブル補完モビリティ




電動マイクロモビリティのシェアリングやデマンドバス運行、特にシェアリングでは安全なゲージと運行の見守りを行う。

都市環境予測



街区、通りの気流・温度・湿度・暑さ指数等からまちの環境を分析し、再開発や住民・来街者への情報提供に活用。

異常行動検知



カメラ画像の骨格抽出による異常行動解析を行い、トラブル発生時にはアラートを出すなどの防犯対策を行う。

将来像

新技術のまちづくりへの活用等を通じ、利便性や先進性の高い暮らしが実現できる都市

- ・・・暮らしを楽しむまちとして市民や民間事業者を選ばれる都市
- ・・・新技術の普及により生活利便性が著しく向上した社会にあっても、まちを楽しむ人が集う都市



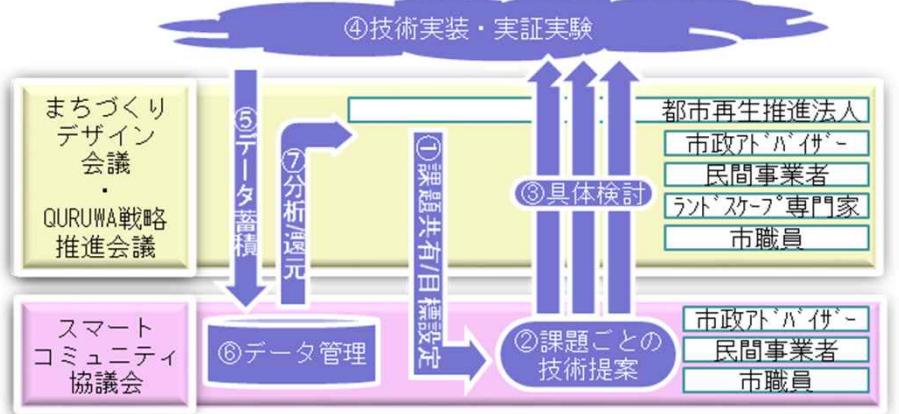
市民や民間事業者を選ばれ、まちを楽しむ人が集う都市の実現

再開発、出店、交流、YouTuber、イベント

Physical Data, Insight Data

楽しい・快適・安全なウォカブル・スマートシティの実現により、人間中心のまちを実現するとともに、持続可能なまちの引力（誘客・民間投資・出店・居住意向）を増幅

体制



④ 技術実装・実証実験

まちづくりデザイン会議、QURUWA戦略推進会議

スマートコミュニティ協議会

⑤ データ蓄積、⑦ 分析還元、⑥ データ管理

① 課題共有/目標設定、② 課題ごとの技術提案、③ 具体検討

都市再生推進法人、市政アドバイザー、民間事業者、ラト・スケープ専門家、市職員

市政アドバイザー、民間事業者、市職員

スケジュール

実装済（一部）	2020年実装	2021年実装	2022年実装
<ul style="list-style-type: none"> ・通行人属性推定 ・人流導線把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングアプリ ・駐車場情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市環境予測 ・人流統合分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・水位予測 ・地域内モビリティ ・異常行動検知

うめきた2期地区等スマートシティモデル事業（うめきた2期地区等スマートシティ形成協議会）（大阪市）

ターミナル立地の広大な都市公園を有するうめきた2期地区や、国際集客拠点をめざす夢洲地区において、最先端技術の導入・実証実験の実施を行いやすいグリーンフィールドとしての特性を活かし、豊富なデータの利活用を実現するプラットフォームを整備し、“事業創出”・“市民のQOL向上”・“マネジメントの高度化”に資する施策に官民の枠を超えて取り組む。

目標

- 事業創出
 - 街区で取得したデータの利活用を通して生まれるプロジェクト数 など
- QOL向上
 - 提案地区で構築予定の会員プログラムの登録者数 など
- マネジメント高度化
 - ロボットやAI等を活用したスマート管理による、建物・公園の維持管理の省人・省コスト効果 など

取組概要

○ヒューマンデータの利活用

心理、生理、行動、環境等、人に関するデータ(ヒューマンデータ)を「まち貢献ポイント」の導入等により収集、活用する「ヒューマンデータ活用基盤」を検討し、事業創出の仕組みづくりに取り組む。



○自動運転、パーソナルモビリティ

交通弱者やインバウンドへの対応、ラストワンマイルの移動快適性の確保、万博開催・IR 開業（予定）等に向け、新たな技術を駆使した自動運転バス、パーソナルモビリティの導入に向けて取り組む。

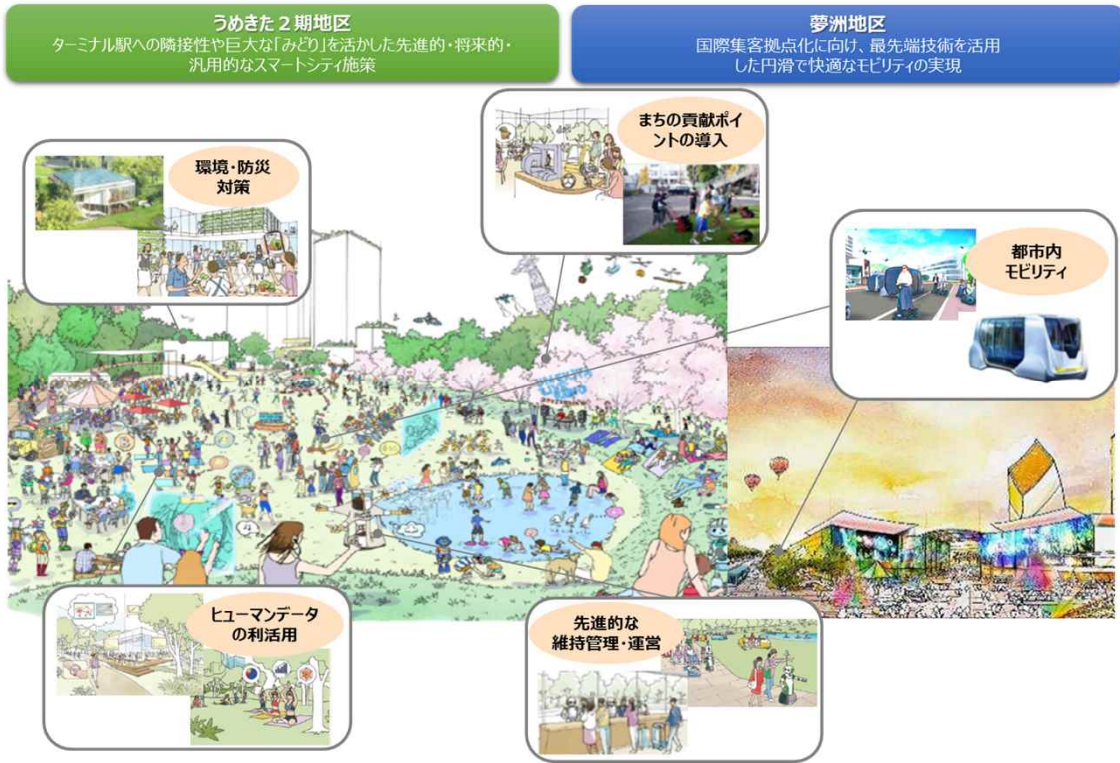


○新技術を活用した施設管理

管理データや利用者の声等の統合管理により、公園管理を高度化。遠隔公園管理システムの導入に向けて取り組む。ロボット等の導入による維持管理・運営の省人・省コスト化に取り組む。



将来像



体制

うめきた2期地区等スマートシティ形成協議会

うめきた2期地区分科会
(三菱地所株を代表とするグループ※、大阪府、大阪市、都市再生機構、JR西日本)

夢洲地区分科会
(大阪府、大阪市、Osaka Metro、JR西日本)

※三菱地所株式会社を代表とするグループ：
三菱地所、大阪ガス都市開発、オリックス不動産、関電不動産開発、積水ハウス、竹中工務店、阪急電鉄、三菱地所レジデンス、うめきた開発特定目的会社

スケジュール

2022年一部実装

- ・ヒューマンデータの利活用

2024年実装

- ・モビリティの実用化
- ・遠隔公園管理システム
- ・遠隔操作ロボット

加古川スマートシティ事業（かがわICTまちづくり協議会）（加古川市）

ICTなどの先端技術を積極的に活用し、“安全・安心”をはじめとする様々な地域課題に多様な主体が協働して取り組む、魅力的なコミュニティを形成し、共に支え、いつまでも安心して快適に暮らせるまちを目指す。

目標

- 軽減した犯罪被害額（仮試算値:5,500万円/5年）
- 軽減した交通事故被害額（仮試算値:10億円/5年）

など

取組概要

かがわアプリや行政情報ダッシュボード等を通じた、安心・快適な暮らしに資するスマートサービスの展開

見守りサービスイメージ

見守りタグ検知器
保護者
アプリ
ボランティア
見守り対象者
見守りタグ保持

ボランティア活動を誘発する地域ポイント：ウェルビーポイント

かがわアプリ

- ・天気/警報
・お知らせ
・スマイルメール（意見箱）など

発災時における避難可能ビルの放送波による鍵開け・照明点灯

行政情報ダッシュボード

- ・市や国のオープンデータ
・J/V/Lアラート
・県の防災/防犯情報など

将来像

柱1. 安全・安心なまちづくり

- 困った時は相談しやすいネットワークがある
- 大切な人の居場所がいつでも把握できる
- 地域活動へ参加し、健康づくりに取り組む楽しみがある
- IoTを活用した効率的で働きやすい環境がある

柱2. 市民の利便性・QOL向上

- 自然の豊かさを享受しながら災害時には適時に避難できる
- IoTを活用した効率的で働きやすい環境がある
- いつでもどこでもまちの情報が手に入る

柱3. 持続可能な都市マネジメント

- 市政の状況がデータを通じて確認できる
- 市民自らが“動くセンサー”として参加できる
- 効率的で便利な公共交通サービスで移動できる

体制

【代表】株式会社 日建設計総合研究所（NSRI）

- 日本電気株式会社（NEC）
- 総合警備保障株式会社（ALSOK）
- 株式会社フューチャーリンクネットワーク（FLN）
- 株式会社日建設計シビル（NSC）
- 関西電力株式会社（KEPCO）
- 加古川市

スケジュール

実装済

- ・かがわアプリ
- ・見守りサービス(複数事業者)
- ・見守りカメラ
- ・行政情報ダッシュボード
- ・データプラットフォーム
- ・地域ポイント

2022年実装

- ・河川水位情報収集・活用
- ・高齢者認知症の早期発見
- ・電動アシスト自転車による高齢者見守り
- ・保育分野のスマート化・DX
- ・周辺自治体との広域連携

2023年以降実装

- ・ラストワンマイル移動サービス
- ・災害情報伝達手段等の高度化
- ・左記各種サービスの広域展開

荒尾ウェルビーイングスマートシティ（あらおスマートシティ推進協議会）（荒尾市）

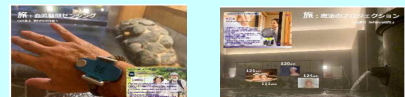
センシング技術を活用し、さりげなく日常生活の中で健康状態がわかる「日常人間ドック」、パーソナルデータエコシステムの活用など、多様な先進技術の連携により、住民が最先端のウェルビーイング（心身ともに健康で幸せな状態）を享受できる快適未来都市を創造。また南新地地区をリビングラボと位置付け、ニューノーマル時代の新サービス創出拠点を目指す。

目標

- 健康長寿社会の実現
→平均自立期間
- あらおファンの拡大
→荒尾市への転入者数、あらおファン（ふるさと会員数等）の人数
- 暮らしやすいまちの基盤構築
→荒尾が暮らしやすいと感じている市民の割合

取組概要

さりげないセンシングと日常人間ドック「血流動態センサ」や、映った人の体調がわかる「魔法の鏡」などのデバイスをまちに埋め込み、日々の体調変化をAI解析し、結果を共有することで、市民・来訪者の健康増進が図れるシステムを構築。



血流動態センサ(イメージ) 魔法の鏡(イメージ)

日常のさりげないセンシングによる日常人間ドック

はかる さりげない日常のセンシング

わかる 日常の差の解析

協力：COI東北拠点/東北大学

パーソナルデータエコシステム

パーソナルデータを集中管理ではなく、各個人に集約し分散管理するPLR(Personal Life Repository)の仕組みにより管理し、行政サービスの質向上等へ活用。




協力：東京大学 大学院情報理工学系研究科ソーシャルICT研究センター

エネルギーの地産地消×自治体MaaS

電力の地産地消にあわせモビリティ（タクシー、キックボード、ゴミ収集車等）をEV・電動化するとともに、MaaSにより移動・輸送を最適化。

リビングラボ

コロナを踏まえた新しいスマートシティ機能を、南新地地区に埋め込み、リビングラボとして運営。



将来像

荒尾市で今後想定される問題

- 人口のさらなる減少によって・・・
- 賑わいの低下 産業の担い手不足
- 地域経済衰退 医療費の高騰
- 子育て環境悪化 交通機能低下
- 空き家増加・・・

取り組む課題（重点戦略）

1. 切れ目のない充実した子育て環境をつくる
2. 雇用の確保と所得の向上で安定した暮らしをつくる
3. 誰もがつながりを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる
4. あらおファンを増やすとともに、移住しやすい環境をつくる
5. 先進的で持続的なまちをつくる

重点施策

- 南新地ウェルネス拠点開発（競馬場跡地の再開発事業）
- スマートシティ事業（ヘルスケア+エネルギー+モビリティ+α）

ニューノーマル時代への適応

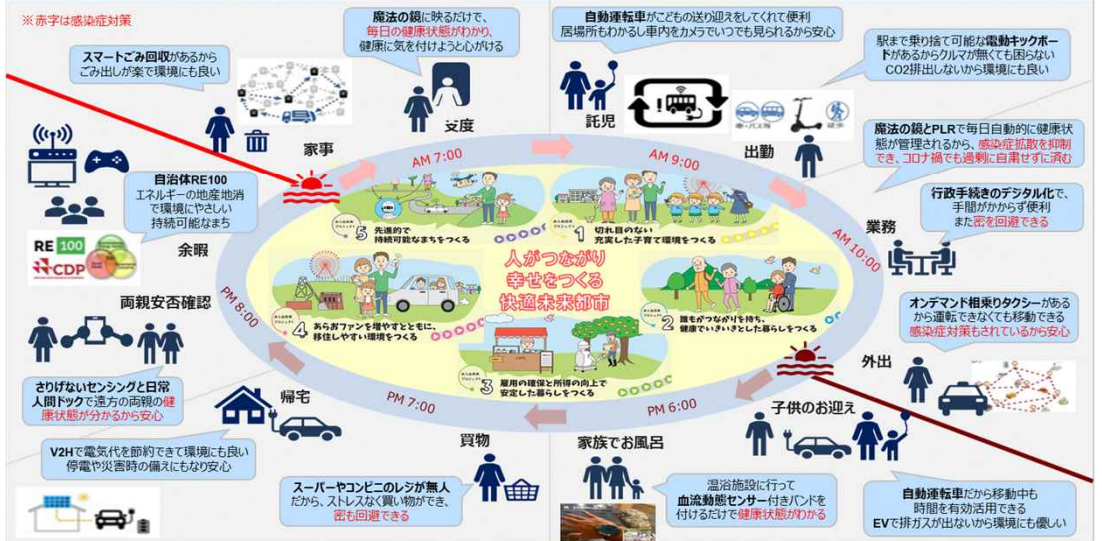
生活 健康意識、衛生意識、イデナカ充実志向、節約志向、非三密、アウトドア活動増、家族第一志向、好きな地に居住

働き方 オンライン会議、リモートワーク使い分け、ワーケーション浸透、ワークライフバランス

消費 現金からキャッシュレスへ、テイクアウト・デリバリーのさらなる発展、近場、自然、静かな場所へ旅行・・・

まちの将来像・ビジョン

※赤字は感染症対策



AM 7:00 家事 自治体RE100 エネルギーの地産地消で環境にやさしい持続可能なまち

AM 9:00 出勤 自動運転車がこどもの送り迎えをしてくれて便利。居場所もわかるし車内をカメラでいつでも見られるから安心

AM 10:00 業務 魔法の鏡とPLRで毎日自動的に健康状態が管理されるから、感染症拡散を抑制でき、コロナ禍でも過剰に自衛せずに済む

PM 7:00 帰宅 さりげないセンシングと日常人間ドックで遠方の街の健康状態が分かるから安心

PM 8:00 余暇 両親安否確認

PM 9:00 買い物 V2Hで電気代を節約できて環境にも良い。停電や災害時の備えにも安心

PM 6:00 家族でお風呂 温浴施設に行って血流動態センサー付きバスを付けるだけで健康状態がわかる

PM 7:00 子供のお迎え 自動運転車だから移動中も時間を有効活用できる。EVで排ガスが出ないから環境にも優しい

PM 8:00 外出 オンデマンド相乗りタクシーがあるから運転できなくても移動できる。感染症対策もされているから安心

PM 9:00 買物 スーパーやコンビニのレジが無人だから、ストレスなく買い物でき、密も回避できる

PM 10:00 家事 魔法の鏡とPLRで毎日自動的に健康状態が管理されるから、感染症拡散を抑制でき、コロナ禍でも過剰に自衛せずに済む

PM 11:00 業務 行政手続きのデジタル化で、手間がかからず便利。また密を回避できる

PM 12:00 外出 オンデマンド相乗りタクシーがあるから運転できなくても移動できる。感染症対策もされているから安心

PM 1:00 家事 魔法の鏡とPLRで毎日自動的に健康状態が管理されるから、感染症拡散を抑制でき、コロナ禍でも過剰に自衛せずに済む

PM 2:00 業務 行政手続きのデジタル化で、手間がかからず便利。また密を回避できる

PM 3:00 外出 オンデマンド相乗りタクシーがあるから運転できなくても移動できる。感染症対策もされているから安心

PM 4:00 買物 スーパーやコンビニのレジが無人だから、ストレスなく買い物でき、密も回避できる

PM 5:00 家族でお風呂 温浴施設に行って血流動態センサー付きバスを付けるだけで健康状態がわかる

PM 6:00 子供のお迎え 自動運転車だから移動中も時間を有効活用できる。EVで排ガスが出ないから環境にも優しい

PM 7:00 帰宅 さりげないセンシングと日常人間ドックで遠方の街の健康状態が分かるから安心

PM 8:00 余暇 両親安否確認

PM 9:00 買物 V2Hで電気代を節約できて環境にも良い。停電や災害時の備えにも安心

PM 10:00 家族でお風呂 温浴施設に行って血流動態センサー付きバスを付けるだけで健康状態がわかる

PM 11:00 子供のお迎え 自動運転車だから移動中も時間を有効活用できる。EVで排ガスが出ないから環境にも優しい

PM 12:00 買物 スーパーやコンビニのレジが無人だから、ストレスなく買い物でき、密も回避できる

PM 1:00 家族でお風呂 温浴施設に行って血流動態センサー付きバスを付けるだけで健康状態がわかる

PM 2:00 子供のお迎え 自動運転車だから移動中も時間を有効活用できる。EVで排ガスが出ないから環境にも優しい

PM 3:00 買物 スーパーやコンビニのレジが無人だから、ストレスなく買い物でき、密も回避できる

PM 4:00 家族でお風呂 温浴施設に行って血流動態センサー付きバスを付けるだけで健康状態がわかる

PM 5:00 子供のお迎え 自動運転車だから移動中も時間を有効活用できる。EVで排ガスが出ないから環境にも優しい

PM 6:00 買物 スーパーやコンビニのレジが無人だから、ストレスなく買い物でき、密も回避できる

PM 7:00 家族でお風呂 温浴施設に行って血流動態センサー付きバスを付けるだけで健康状態がわかる

PM 8:00 子供のお迎え 自動運転車だから移動中も時間を有効活用できる。EVで排ガスが出ないから環境にも優しい

PM 9:00 買物 スーパーやコンビニのレジが無人だから、ストレスなく買い物でき、密も回避できる

PM 10:00 家族でお風呂 温浴施設に行って血流動態センサー付きバスを付けるだけで健康状態がわかる

PM 11:00 子供のお迎え 自動運転車だから移動中も時間を有効活用できる。EVで排ガスが出ないから環境にも優しい

PM 12:00 買物 スーパーやコンビニのレジが無人だから、ストレスなく買い物でき、密も回避できる

PM 1:00 家族でお風呂 温浴施設に行って血流動態センサー付きバスを付けるだけで健康状態がわかる

PM 2:00 子供のお迎え 自動運転車だから移動中も時間を有効活用できる。EVで排ガスが出ないから環境にも優しい

PM 3:00 買物 スーパーやコンビニのレジが無人だから、ストレスなく買い物でき、密も回避できる

PM 4:00 家族でお風呂 温浴施設に行って血流動態センサー付きバスを付けるだけで健康状態がわかる

PM 5:00 子供のお迎え 自動運転車だから移動中も時間を有効活用できる。EVで排ガスが出ないから環境にも優しい

PM 6:00 買物 スーパーやコンビニのレジが無人だから、ストレスなく買い物でき、密も回避できる

PM 7:00 家族でお風呂 温浴施設に行って血流動態センサー付きバスを付けるだけで健康状態がわかる

PM 8:00 子供のお迎え 自動運転車だから移動中も時間を有効活用できる。EVで排ガスが出ないから環境にも優しい

PM 9:00 買物 スーパーやコンビニのレジが無人だから、ストレスなく買い物でき、密も回避できる

PM 10:00 家族でお風呂 温浴施設に行って血流動態センサー付きバスを付けるだけで健康状態がわかる

PM 11:00 子供のお迎え 自動運転車だから移動中も時間を有効活用できる。EVで排ガスが出ないから環境にも優しい

PM 12:00 買物 スーパーやコンビニのレジが無人だから、ストレスなく買い物でき、密も回避できる

体制

あらおスマートシティ推進協議会

<正会員>

- 荒尾市
- JTB総合研究所
- 三井物産
- 有明エナジー
- グローバルエンジニアリング
- UR都市機構

<アドバイザー会員>

- 東京大学
- COI東北拠点 (東北大学)

<サポート会員>

- ITID

エリアマネジメント検討協議会(仮)

- 南新地地区ウェルネス拠点開発事業
- 地域の組織/団体
 - ・商工会議所
 - ・医師会
 - ・金融機関 等

スケジュール

2020年実装

- ・自立的なエネルギーシステム
- ・オンデマンド相乗りタクシー

2022年以降順次実装

- ・さりげないセンシングによる日常人間ドック
- ・パーソナルデータエコシステム
- ・行政手続きのデジタル化